

2部

フィールド フィールド
現場から現場へ

「知的欲ばり」のすすめ

～二つの実習と卒業研究を終えて～

通信教育部社会福祉学科卒業生 **藤原 芳子**

◆はじめに

福祉とは畑違いの職場にしながら、一年間に二つの実習と卒業研究、加えて心理学科目の追加履修を終えました。周囲には「無茶だ」と言われながらも挑戦した一年間は、ほんとうに苦しかったけれど、その反面、最高に充実していました。その日々を今、振り返り、これから実習を迎える方々のために語ろうと思います。

◆社会福祉援助技術実習

老人デイサービスセンターを自ら探し実習先に希望したのは、土日に実習が出来ることと卒業研究に協力してもらうためです。実習では「利用者が家にいるのと同じように過ごす」という目的下での利用者主義の実際やQOLの向上、権利擁護、法と援助の関連等を学ぶことが出来ました。相談員としてだけでなく援助者として入浴、着脱、調理の盛りつけ等も一通り経験させていただきました。利用者とのコミュニケーションでは孤独感や不安や悩みをたくさん話してもらうことが出来、相談員のあり方や社会資源のあり方とそのアウトラインを掴むことが出来ました。ただ、巡回指導時に先生から実習内容や目標について指摘を受けてしまい、不安になって通信教育部に電話を入れたところ、「大丈夫。気を強く持ってがんばってください。」と力強い励ましをいただきました。その一言を支えに実習を継続・終了することができたと思っています。

◆実習先での卒業研究

卒業研究『要介護高齢者の「食」の楽しみについて』は実習先のデイサービスの利用者・介護員・調理員の協力のもとに、担当教授の指導を仰いで書き上げることが出来ました。利用者みなさんが本音で語ってくれた日常の悩み・楽しみ・希望の数々は、実習生として近くにいたからこそ収集できたデータでもあり、私にとっては実習の23日間がまた違った意味で実を結んだものとなりました。そしてそれらは私自身が研究内容と共に、人の「幸せ」や「楽しみ」の意味を改めて考え、見つめ直す貴重な機会をも与えてくれました。論文が形になるかは不安でしたが、研究のノウハウ・楽しさ・価値等を教授から1対1でご指導いただき、何とか完成できました。手元に残った論文には卒業証書と同等なほどの達成感と満足感を感じ、実習先と関係者の方々に深く感謝しています。

◆精神保健福祉援助実習

就労支援事業所を希望し、無理を言って探していただいた実習先は60キロも離れた隣の市の就労継続支援B型でした。実習生は初めてとあって障害者の方々はまるで転校生が来たかのように歓迎してくださいました。途中、新しい職員の方が次々と入れ実習生の私の席が無くなってしまうと「居場所がないんだべ」と心を察してくれて、みんなのいる喫煙所へと案内してくれたのも彼らでした。産業フェアが近くで開催されると「一緒にいぐべ」と見に来て行ってくれました。試乗の電気自動車と一緒に乗ってくれたり、セグウェイに挑戦する私を拍手しながら励ましてくれました。事業所からももらったおやつは必ず私にも分けてくれましたし、寒い日は帽子を貸してくれました。数日のうちに彼らは私の中で「障害者」から大切な「仲間」に変わりました。優しさ故に発病した彼らと、毎日一緒に

公園を清掃しながら紅葉を楽しみ、ブランコにのり、池の鯉を数え、一緒にテーブルでお昼を食べて、一人一人の悩みや人生を聞き、泣いたり笑ったりできたことは私の生涯の心の財産となりました。「寄り添う」この意味を知り、相談員になる自信を彼らから貰いました。指導者にも恵まれて、想像以上に有意義で楽しい実習となりました。

◆ 「知的欲ばり」のすすめ

私の場合は極端な例ですが、あれもこれもと広く学んだことで自分の好き嫌い・適性・興味が見えてきたのも事実です。特に私のように福祉の仕事をしていない場合、内容がよく見えないまま、自分の学びの道を限定することも多いでしょう。私はこれまでの経験から、この「知的欲ばり」を興味と時間のある方にはぜひおすすめしたいと思います。

通信課程で学ぶ目的を国家試験一つに絞り、資格取得の科目のみ修めて卒業するのも一つの考え方かもしれません。ですが、それ以上のことを望めば、東北福祉大学ではたくさんの道が開け、素敵な出会いがあり、様々な学びが可能です。それはまさに福祉学の老舗とも言えるこの大学だからこそ出来ることなのではないかと思うのです。

実習も研究もレポートも全ては「チャンス」です。自らが望み、行動しなければ何も身につくことはありません。その過程で苦しみや悩みが多いほど自分の中に知的財産として培われていくものも大きいと思います。何も恐れず学びたい気持ちを優先させて、これからも東北福祉大学での学びの一日一日を大切に楽しんでいただきたいと思います。

(この原稿は震災前にいただいていた内容をそのまま掲載しています)